

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●令和5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定と実績値等

市町村名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
吉野町	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	小中一貫教育となり、9年間の連続制のある教育環境が整ったので、今後は、子どもたちが本来の歴史や文化伝統等を学べる機会をさらに増やすため、地域学校協働活動に参画する地域人材が多く必要なる。	学校と地域が育てたい子ども像を共有でき、本町の地域資源を生かした教育活動ができるようにするために、多くの地域住民が地域学校協働活動に参画できる体制を整える。	地域ぐるみで子どもを育てる意識が醸成されることで、地域学校協働活動に参画する地域人材の人数を増やす。	地域学校協働活動に参画し新たな地域人材の人数	0	人	10	19	3 ・体験活動等、本年度のプログラムを立案する際、地域人材活躍の場を新たにつくる意図で編成した。結果、計画に応じて新たに参加・参画していただいた方々は、実践を通してこの活動への理解を深め、地域の子もたちとの関わりが生まれた。子どもたちにとっても体験学習等を通じて、新たな出会いの中で、気づき、学び、感動を得ることができた。	https://www.town.yoshino.nara.jp/cho/min/kyouiku/chikigakkkyodo.html

※目標設定は令和5年度より取組。

●アウトカムの達成度に関する評価基準 (文部科学省基準)

当該年度のアウトカムの達成度(課題の解決・改善度の進捗度)【自己評価】

- 5: 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した。
- 4: 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた。
- 3: 本年度の目標値を達成し、取組の改善が見られた。
- 2: 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。
- 1: 本年度の目標値を大きく下回り、取組の根本的な見直し求められる。